

生命の交差点～巨樹・古木マップづくり事業

取組に至る背景・事業の目的

本会では、平成元年から町内の巨樹・古木・希少木の調査を行い、その中から 35 箇所を選び、樹木の特徴や写真を掲載した冊子の発行と、現地に表示板を建てることを計画したことがあったが事情により中断していた。ただし、当時の資料はそのまま保存されており、この貴重な資料の掘り起こしと、現在、町内にある巨樹・古木・名木をあらためて見直し、その結果をまとめて公開することは、町の自然と文化を知り、みんなの力で自然を守るうえで大切なことであり、本会の事業としてふさわしいと考えた。

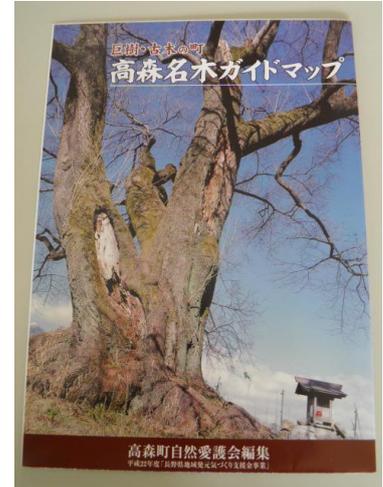
事業内容

町内の巨樹、古木、希少種木など将来にわたって保存し育てていくべき樹を選定し、マップにまとめるとともに、標識を作成し標識設置に伴って学習会を開催し、町民に周知を図った。

事業効果

人の住むところ、人の寄るところ、そこには必ずと言っていいほど木があり、その木は人々の生活にいろいろな形で関わっている。家の周りや土手、近くの山にある木、そして高い山奥にある木、これらの木や草は綺麗な空気、澄んだ水など私たちの毎日の暮らしと切り離して考えることはできないほど大きく関わっている。

マップづくり、表示板設置を契機に、子ども達と一緒に巨樹・古木・名木に触れ、その素晴らしさを知り、身近にある木や森、そしてふるさとの自然をあらためて見直し、より良い自然を子ども達とともに将来に残すための活動の出発点になったと考えている。



【高森名木ガイドマップ】



【子どもたちによる表示板設置】

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- ・ 20 年前の調査では 35 箇所だったが、今回新たに再調査を行った結果、対象候補として 170 箇所あることが判明した。そこから 56 箇所に絞りこむのに苦労した。
- ・ 愛護会員だけでなく、町民も古木・名木を大切に守ってくれることを願っている。
- ・ 平成 23 年度は、名木めぐり会の実施、名木めぐりのコース作りと案内人の養成を行っていく。

【選定のポイント】

地域内の巨樹、希少種木などのガイドマップ作成により、地域で守るべき資源を掘り起こし、後世にその価値を残そうとする活動で、巨木の標識を子どもたちと一緒に設置することで、守るべき資源と認識させる活動は、将来を担う子どもたちに自然を大切にする心を育てる、身近な資源を活用した環境学習として高く評価できる。

団体名	高森町自然愛護会（高森町）	事業タイプ	ソフト事業
連絡先	0265-35-4004	事業費	1,426,805円
		支援金額	1,426,000円